

災害時要援護者におけるトリアージを考慮した避難支援計画に関する研究

—千葉県長生郡一宮町を対象として—

Research on the refuge support plan which took into consideration the triage in a support person required at the time of a disaster

—Case of study in Chose-gun Ichinomiya-machi, Chiba—

○三好隆正¹, 近藤健雄², 山本和清²

*Takamasa Miyoshi¹, Takeo Kondo², Kazukiyo Yamamoto²

Abstract: Japan is an earthquake powers and has caused the tsunami hazard by many earthquakes. Transfer constraint person by the decline of the body has increased and has become an aging society further. Many victims came out in the Great East Japan Earthquake, which occurred in 2011, but it was the damage caused by the tsunami many. The purpose of research forms a plan to already tsunami refuge of the vulnerable people's of tsunami developmental time required. Therefore, a questionnaire is performed and the consciousness to refuge support is investigated. Support awareness of requiring assistance of the residents was higher from the survey results. Putting a priority to support evacuation of the person requiring assistance disaster important for the evacuation plan. It is important for an evacuation plan to give a priority to refuge support of a support person required at the time of a disaster.

1. 研究背景

日本は地震大国で数々の地震帯があり、多くの地震により津波災害を引き起こし多数の被害者が出ている。さらに現在高齢社会であり身体能力の減衰等により、歩行速度が低下するなど移動制約者が増加している。2011年3月11日に発生した東日本大震災では、被害者の約65%が高齢者であり、死亡率は健常者が1.03%に対し、障がい者2.06%と2倍であった。被害者（行方不明者を含む）20,000人以上の内93%は溺死であることが明らかにされている^[1]。

それらを踏まえ災害対策基本法が2013年に改正され、災害時要援護者情報の共有や要援護者名簿の作成が改善されると共に市町村への作成の義務付けや、災害時の名簿公開の同意が必要なくなるなど改善がされ、災害に備えた要援護者の把握と避難支援計画は行政でも行われてきている^[2]。

2. 研究目的

災害時要援護者の避難支援ガイドラインでは災害時の避難所の使用の仕方を災害医療におけるトリアージ^[*1]のような発想を参考にしつつ、介助者の有無や障害の種類・程度に応じて優先順位をつけて対応するとある。^[3]災害時の支援活動にも優先度をつけることにより災害時に迅速に支援活動を行うことが出来ると考える。

そこで本研究では、津波発生時に要援護者及び支援者の円滑かつ迅速な避難に向けた避難計画への知見を得ることを目的とする。

3. 研究方法

3. 1 対象地域の概要

対象地の千葉県長生郡一宮町は、九十九里沿岸部に位置する面積23.02km²、人口12,485人、世帯数4,970世帯の町である。対象地選定理由は地理的に海岸線から高所地までの距離が遠く、津波時に迅速な対応が必要となるため選定した。

3. 2 アンケート調査の概要

災害時要援護者に対する支援意識を把握するためにアンケート調査を行った。調査概要はTable1に示す。

対象者は、一宮町35地区の各地区ごとに無作為で抽出した30世帯に配布した。

アンケート項目は大きく分けて6項目で構成されている。本稿では本研究で使用する2項目について記載する。

①個人属性（回答者及び同居家族）

性別、年齢、職業、勤務地、平日昼間の所在、自動車免許の有無、自力避難の可否、自力避難困難な人の状態、居住年数について尋ねた。

②災害時の防災意識及び避難意識について

災害時の家族での避難場所、災害時の避難手段、ハザードマップの認知度、津波・洪水の浸水危険区域の認知度、自動車避難について、災害時避難のトリアージ容認の許否、災害時避難の支援者の必要な世帯の認知度災害時自分がどの程度支援が出来るかについて回答を得た。

1：日大理工・学部・海建 2：日大理工・教員・海建

Table1. Investigation outline

調査対象地	千葉県長生郡一宮町
調査対象者	対象地区内の世帯
調査方法	アンケート票を用いた訪問留め置き調査
アンケート票の配布	配布日 : 平成25年9月7日(土)~8日(日)の2日間
	配布方法 : 調査員による訪問留め置き
	配布数 : 706票(平成25年9月24日時点)
アンケート票の回収	回収期間 : 平成25年9月7日(土)~9月24日(火)
	回収方法 : 郵送回収
	回収数 : 139票(平成25年9月24日時点) 回収率 : 19.7%

4. 調査結果・考察

現在アンケートの返信がある 139 世帯の結果を以下に示す。

4. 1 災害時要援護者について

はじめに、記入者及び家族の自力避難の可否について Figure1 に示す。自力避難の可能な人は 365 人、自力避難が不可能な人は 32 人であり全体の約 8%であった。その内、家族以外の支援者を決めてない人は半数近くの 14 人であった。さらに自力避難が可能だと記入してある人の内 44 人が後期高齢者（75 歳以上）であり、支援に回ることは難しいと考えられる。

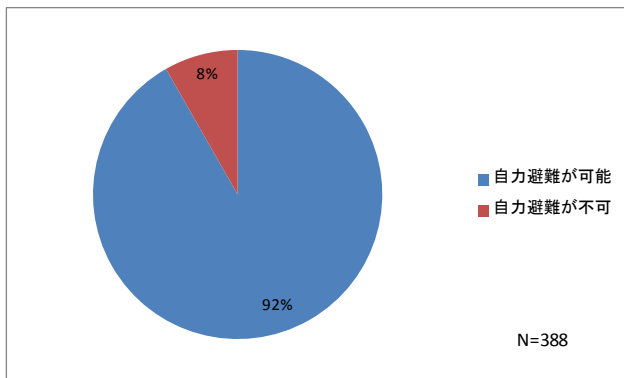


Figure1. Propriety of self-evacuation

4. 2 災害時要援護者に対する避難支援意識について

災害時の防災意識及び避難意識の各質問の回答として集計結果を Figure2, 3 に示す。

Figure2 の災害時避難のトリアージの容認についての集計結果として、容認できる人が 39%、仕方なく容認する人が 50%と容認しても良い人が全体の 89%を占めていることから住民のトリアージに関する容認は理解度が高いことがわかった。

次に Figure3 の災害時に援護者を必要としている世帯を知っているかという問いは、知っている 25%、今は知らないが知りたいと思う 53%、今も知らないし知らうとも思わないが 10%、その他が 12%となっており、その他は自身の身近に必要としてる人がいないことや、援護をしてもらおう立場、他人を援護に回ることが出来ない等の理由があった。知っている人と今は知らない

が知りたいと思う人が合計で 78%あることから避難支援に対する意識は高いと考えられる。

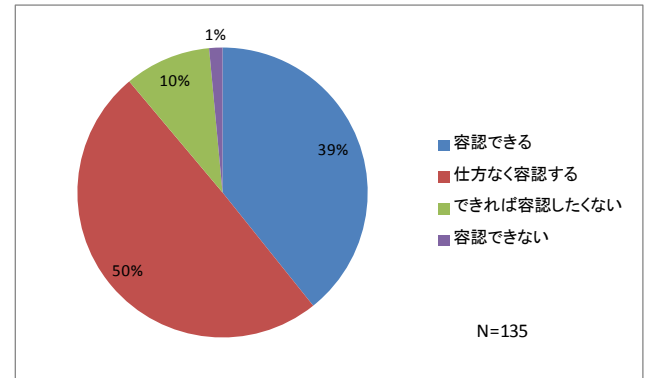


Figure2. Admission of the triage of refuge at the time of a disaster

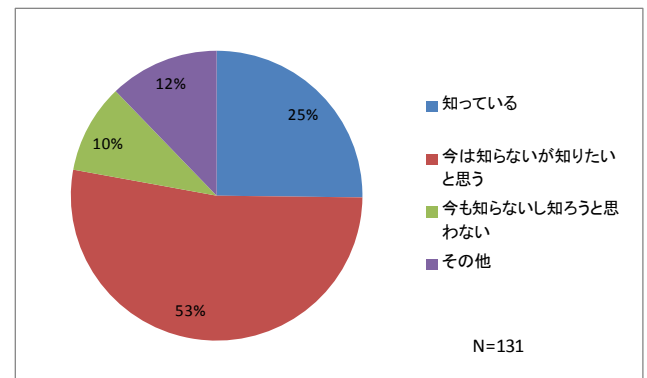


Figure3. The support person's required household known at the time of a disaster

5. まとめ

現在のアンケートの集計結果から対象地住民の要援護者に対する支援意識が高く、今後より向上する意思があることがわかった。さらに津波等の緊急時に多数の避難を短時間で行う場合に対してのトリアージの容認については容認する考え方が約 9 割と多いため、避難計画を策定する際に、要援護者の優先度を定めることができると思う。津波避難等の緊急時の避難の場合、短時間でなるべく多くの人を避難させることになるが、その際に支援者が迅速に要援護者の避難支援を行う必要があるが、事前に決めるべき避難計画において、優先的に避難支援を行う人を決めておくことで、迅速な避難が可能になると考える。

今後は要援護者にどのような項目で優先度をつける必要があるのかという点について分析を進めたい。

<補注>

[*1]トリアージとは多数の負傷者が出る災害や事故などの際に救急隊員や意思が選別し、優先順位をつける行為

<参考文献>

- [1]内閣府：平成 24 版 高齢社会白書
- [2]内閣府：改正災害対策基本法，2013
- [3]内閣府：災害時要援護者の避難支援ガイドライン，2005
- [4]立木：災害時要援護者支援の課題と対策
- [5]内閣府：平成 24 年度版 障害者白書